

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第4グループ(新城・大戸・宮内)	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H29		H30		H29		H30	
	1 新城こども文化センター ①年間延べ利用者数	33,399人	34,180人	②年間延べ利用団体数	162団体	166団体		
2 新城小学校わくわくプラザ ①登録者数	386人	405人	②年間延べ利用者数	29,043人	29,707人			
1 大戸こども文化センター ①年間延べ利用者数	40,178人	42,327人	②年間延べ利用団体数	354団体	363団体			
2 大戸小学校わくわくプラザ ①登録者数	446人	475人	②年間延べ利用者数	26,958人	26,309人			
3 大谷戸小学校わくわくプラザ ①登録者数	517人	486人	②年間延べ利用者数	34,952人	32,387人			
1 宮内こども文化センター ①年間延べ利用者数	32,661人	34,737人	②年間延べ利用団体数	404団体	327団体			
2 宮内小学校わくわくプラザ ①登録者数	408人	389人	②年間延べ利用者数	20,208人	21,501人			
3 中原小学校わくわくプラザ ①登録者数	397人	419人	②年間延べ利用者数	29,475人	32,865人			
収支実績	単位:円							
1 収入 指定管理料			160,047,077					
2 支出 人件費 管理費 事務経費 その他経費 合計			124,051,415 9,292,429 6,992,490 8,092,216 148,428,550					
3 差引			11,618,527					
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由)	・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・宮内こども文化センターでは、地域交流事業として、地域で活躍しているバンドと連携し、「ラララコンサート」を実施した。ワークショップや合唱、ダンス等様々なプログラムを盛り込むことで、様々な世代の参加者が交流を図ることができた。 ・今年度新たに、新城こども文化センターにおいて、新城いこいの家と現代人形劇センターひとみ座乙女文楽と連携し子どもからお年寄りまで幅広い世代を対象に、「乙女文楽交流公演」を実施した。人形芝居鑑賞や人形の操り方体験等を通して、多世代交流が図られた。 ・グループ合同事業として、地域の枠を超えた仲間作り等目的としてグループすべてのわくわくプラザ児童を対象とし、「わくわく交流会」を実施した。ミニ運動会として、各わくわくプラザ混合チームで玉入れやマシュマロくい競争等、協力しあいが活動することで、異世代交流が図られた。 ・こうした取り組みの結果、中原区第4グループ全体の利用者数が昨年度と比較し約5,000人増加した。				
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用者ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	3	6
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	4	4
	保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
(評価の理由)	・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努めたほか、苦情等への対応も適切に行われている。 ・特別な配慮を要する児童への対応について、持病のある児童を適切に処遇するための館内研修を開催し、発作が起きた場合の応急処置等の対応方法を学び、児童への理解をスタッフで共有化した結果、実際に発作が起きた場合に適切に対応するなど、児童の処遇向上が図られた。 ・学校及び行政機関との連携について、事業を推進する上で、学校及び行政機関、地域団体等と連携した取組がなされている。 ・施設・事業の広報について、乳幼児や中高生たよりを発行し、対象年齢を捉えた広報を行っているとともに、宮内こども文化センターでは、今年度初めて町内会の掲示板に幼児たよりを掲示し、集客につなげているほか、大戸こども文化センターでは、5町会全ての人が見られるようにたよりを配布している。また、HPやSNS等で情報発信を行った結果、新城こども文化センターでは、HPを見て乳幼児向け行事に初めて参加した乳幼児親子が増えており積極的な広報がされている。 ・運営協議会の実施について、大戸こども文化センターでは、「餅つき&遊び」行事でペースを増やそうという意見から、お手玉とおはじコーナーを設ける等行事内容の充実につながっている。 ・保護者懇談会の実施については、事業計画どおりに開催されている。				

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8	
	職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。				
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。 ・職員の研修体制については、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化して管理し、職員が閲覧できる等、共有化の仕組み作りができています。さらに、グループ研修として、元ボーイスカウト経験者である地域ボランティアを講師に招き、「遊びの研修」で集団ゲームや個人で出来るゲーム等、実践できる簡単なゲームを学び、こども文化センターの「お楽しみ会」でポイントラリーとしてゲームを取り入れる等、行事に反映している。 ・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はありません。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	4	4	
	災害発生時に備えた対応が図られているか。				
	災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の保守管理について、施設や設備の点検や備品の点検がなされており、必要に応じた維持・補修が行われている。 ・利用者の安全確保について、利用者の安全を確保するため、マニュアル等が整備されているとともに、事故防止・感染症予防が図られている。また、事故等の発生時には迅速かつ適切な対応が図られている。 ・防犯対策及び災害時の対応について、防犯対策や災害等の発生に備え、対応マニュアル等が整備されているとともに職員に周知がなされている。また、災害発生時等に適切な対応が図れるよう消防・避難訓練を実施しているとともに、特に大戸こども文化センターでは、地域での防犯対策として、「こども110番」協力者連絡会に参加し、防犯についての情報共有を行うとともに、こども文化センターにおける防犯対策の取組を発信しており、地域団体や学校等と連携を図りながら防犯対策に積極的な行動をしている。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
		「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。			
	効率的・効果的な支出	効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。	5	3	3
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>市内20グループのこども文化センター及びわくわくプラザの指定管理を行うスケールメリットを活かし、効率的・効果的な事業運営を行っている他、全館・全区合同事業の実施、経験や役割に応じた計画的な研修実施によって職員の資質向上を図り、また研修内容・事故状況等の情報を全館で共有するなどにより、安定的で良質なサービス提供を行っている。</p> <p>アレルギー対応について、アレルギーがある児童の把握やチェックリストを作成する等、飲食を伴う行事やわくわくプラザにおけるおやつ提供時では、細心の注意を払っている。また、衛生管理研修を受けた職員が講師となってスタッフ間で嘔吐物処理方法等を共有する等、職員の資質向上を図っており、利用者の安全を確保している。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもの顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。また、より一層利用者の安全を確保するために、他施設や類似施設等でのヒヤリハット事例等の検討を各施設単位で行い、対応策を立案し職員間で共有する等、さらなる安全確保の取組を行うことが望ましい。</p>
